



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年10月25日

上場会社名 日本高純度化学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4973 URL http://www.netjpc.com
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 清水 茂樹
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長兼経営企画室長（氏名） 内田 薫（TEL）03-3550-1048
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月7日 配当支払開始予定日 平成25年11月25日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）
 （百万円未満切捨て）

1. 平成26年3月期第2四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	5,013	△1.8	545	△5.7	572	△4.8	380	△8.0
25年3月期第2四半期	5,103	△3.4	578	△17.5	601	△17.7	412	17.7
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
26年3月期第2四半期	6,489	82	6,487	32				
25年3月期第2四半期	6,858	64	6,858	56				

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,427	7,334	86.7
25年3月期	8,274	7,313	87.9

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 7,308百万円 25年3月期 7,272百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
25年3月期	—	4,000.00	—	4,000.00	8,000.00	—
26年3月期	—	4,000.00	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4,000.00	8,000.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	10,900	9.3	1,170	0.5	1,210	0.2	765	△5.2	12,843	54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期2Q	63,162株	25年3月期	63,158株
----------	---------	--------	---------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	4,947株	25年3月期	3,595株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期2Q	58,564株	25年3月期2Q	60,211株
----------	---------	----------	---------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・平成25年10月29日（火）・・・・・・ 機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期業績の概要は以下の通りであります。

当期の日本経済は日銀の異次元金融緩和政策による円高是正と株式や不動産など資産価格の回復で景気に明るさが広がりました。しかし、欧米先進国の出口戦略による資本流出などで一部の新興国が通貨危機に見舞われる一方、財政再建で米国景気が鈍化するなど厳しい国際環境の下で、我が国の輸出回復が遅れ、生産も一進一退が続きました。政府の成長戦略への期待で設備投資に動意がみられたものの、消費税引上げ前の駆け込み需要を除くと景気はいぜん盛り上がりには至りませんでした。

電子部品業界におきましては、サーバ、スマートフォン及びタブレット向けについては年末商戦に向けて需要回復が見られ堅調に推移しましたが、ハイエンドのスマートフォン向けについては生産立ち上がりが遅れ、生産調整も見受けられました。

当社におきましては、サーバ、スマートフォン及びタブレット向けのパッケージ基板用無電解金めっき薬品や、車載向けのリードフレーム用パラジウムめっき薬品などの販売は堅調に推移しましたが、ハイエンドのスマートフォン向けの高精細コネクタ用硬質金めっき薬品や従来からの半導体パッケージ基板用の電解金めっき薬品などについては当初の販売予測には至りませんでした。

その結果、売上高は5,013,252千円(前年同四半期累計期間比1.8%減)、営業利益は545,705千円(前年同四半期累計期間比5.7%減)、経常利益は572,684千円(前年同四半期累計期間比4.8%減)、四半期純利益は380,075千円(前年同四半期累計期間比8.0%減)となりました。

なお、保有有価証券のうち時価が著しく下落したものについて投資有価証券評価損5,508千円を特別損失として計上しております。

売上高の用途品目別内訳は、プリント基板・半導体搭載基板用1,812,753千円、コネクタ・マイクロスイッチ用952,445千円、リードフレーム用1,593,533千円、その他654,519千円であります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債・純資産の増減

(資産)

流動資産は5,647,412千円となり、前事業年度末に比べて301,272千円の減少となりました。これは主に現金及び預金が223,442千円増加したものの、受取手形及び売掛金(電子記録債権を含む)が467,505千円減少、たな卸資産が47,533千円減少したことによるものであります。

固定資産は2,779,610千円となり、前事業年度末に比べて453,855千円の増加となりました。これは主に投資有価証券442,912千円の増加によるものであります。

この結果、総資産は8,427,022千円となり、前事業年度末に比べて152,583千円の増加となりました。

(負債)

流動負債は588,328千円となり、前事業年度末に比べて3,389千円の増加となりました。これは主に設備未払金が21,570千円減少、未払法人税等が13,161千円減少したものの、買掛金が43,258千円増加したことによるものであります。

固定負債は503,831千円となり、前事業年度末に比べて127,460千円の増加となりました。これは主に役員退職慰労引当金が11,930千円増加、繰延税金負債が115,340千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,092,160千円となり、前事業年度末に比べて130,850千円の増加となりまし

た。

（純資産）

純資産合計は7,334,861千円となり、前事業年度末に比べて21,733千円の増加となりました。これは主に自己株式取得により326,631千円減少したものの、利益剰余金が141,823千円増加、その他有価証券評価差額金が220,385千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの分析

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、3,111,808千円（前年同四半期は3,168,614千円）となり、前事業年度末に比べ223,442千円の増加となりました。なお、当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動におけるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは948,986千円の収入となり、前年同四半期比752,539千円の収入増となりました。これは主に、前年同四半期は売上債権の増加により130,423千円の収入減であった一方、当四半期は売上債権の減少により467,505千円の収入増となることなどによるものであります。

（投資活動におけるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは160,691千円の支出となり、前年同四半期比100,067千円の支出増となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出106,220千円などによるものであります。

（財務活動におけるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは564,852千円の支出となり、前年同四半期比324,008千円の支出増となりました。これは主に自己株式の取得による支出327,284千円などによるものであります。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,389,119	3,612,562
受取手形及び売掛金	2,199,578	1,726,916
電子記録債権	—	5,156
商品及び製品	73,856	92,756
原材料及び貯蔵品	193,768	127,334
その他	92,360	82,685
流動資産合計	5,948,684	5,647,412
固定資産		
有形固定資産	105,054	117,903
無形固定資産	62,279	55,068
投資その他の資産		
投資有価証券	2,121,860	2,564,773
その他	36,560	41,865
投資その他の資産合計	2,158,420	2,606,638
固定資産合計	2,325,754	2,779,610
資産合計	8,274,438	8,427,022
負債の部		
流動負債		
買掛金	216,629	259,887
未払法人税等	225,864	212,703
賞与引当金	55,500	55,500
その他	86,945	60,237
流動負債合計	584,939	588,328
固定負債		
繰延税金負債	117,140	232,481
資産除去債務	38,150	38,340
役員退職慰労引当金	221,080	233,010
固定負債合計	376,370	503,831
負債合計	961,310	1,092,160

（単位：千円）

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,281,575	1,281,917
資本剰余金	1,025,287	1,025,629
利益剰余金	5,413,158	5,554,981
自己株式	△851,942	△1,178,573
株主資本合計	6,868,078	6,683,954
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	404,650	625,036
評価・換算差額等合計	404,650	625,036
新株予約権	40,399	25,870
純資産合計	7,313,128	7,334,861
負債純資産合計	8,274,438	8,427,022

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	5,103,194	5,013,252
売上原価	4,025,704	3,958,815
売上総利益	1,077,489	1,054,437
販売費及び一般管理費	498,782	508,731
営業利益	578,707	545,705
営業外収益		
受取利息	335	308
受取配当金	19,236	21,574
その他	3,735	5,749
営業外収益合計	23,307	27,632
営業外費用		
自己株式取得費用	—	653
為替差損	438	—
支払手数料	245	—
営業外費用合計	684	653
経常利益	601,330	572,684
特別利益		
新株予約権戻入益	46,236	18,258
特別利益合計	46,236	18,258
特別損失		
投資有価証券評価損	20,151	5,508
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	20,151	5,508
税引前四半期純利益	627,415	585,434
法人税、住民税及び事業税	230,786	209,042
法人税等調整額	△16,336	△3,683
法人税等合計	214,449	205,358
四半期純利益	412,966	380,075

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	627,415	585,434
減価償却費	14,418	22,762
投資有価証券評価損益（△は益）	20,151	5,508
新株予約権戻入益	△46,236	△18,258
受取利息及び受取配当金	△19,572	△21,882
売上債権の増減額（△は増加）	△130,423	467,505
たな卸資産の増減額（△は増加）	△48,796	47,533
仕入債務の増減額（△は減少）	△88,355	43,258
その他	28,550	17,057
小計	357,151	1,148,919
利息及び配当金の受取額	17,408	19,394
法人税等の支払額	△178,112	△219,327
営業活動によるキャッシュ・フロー	196,446	948,986
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△6,241	△106,220
有形固定資産の取得による支出	△36,481	△47,487
差入保証金の差入による支出	△13,012	△5,737
その他	△4,888	△1,245
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,624	△160,691
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	683
配当金の支払額	△240,844	△238,252
自己株式の取得による支出	—	△327,284
財務活動によるキャッシュ・フロー	△240,844	△564,852
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△105,021	223,442
現金及び現金同等物の期首残高	3,273,636	2,888,366
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,168,614	3,111,808

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。